

平成27年度行政事業レビューシート(復興庁)

事業名	国宝・重要文化財等の保存整備等			担当部局庁	復興庁			作成責任者
事業開始年度	平成24年度	事業終了(予定)年度	平成32年度	担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)			参事官 小瀬 達之
会計区分	東日本大震災復興特別会計			政策・施策名	政策：復興施策の推進 施策：東日本大震災からの復興に係る施策の推進			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	文化財保護法 第35条、第83条、第87条等			関係する計画、通知等	東日本大震災からの復興の基本方針 (平成23年7月29日 東日本大震災復興対策本部決定)			
主要政策・施策	国土強靱化			主要経費	その他の事項経費			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	東日本大震災により被害を受けた国指定等文化財の数は700件を超えており、貴重な国民的財産である文化財を着実に後世へ継承するために、被災文化財について早急に保存・修復等の措置を講じる。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	東日本大震災により被害を受けた国指定等文化財の所有者、管理団体等が実施する文化財の復旧事業に対して補助を行う。 (補助率50%~85%)							
実施方法	補助							
予算額・執行額 (単位:百万円)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	1,939	1,714	2,097	2,543.6	1,158.6	
		補正予算	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	962	715	491.2		
		翌年度へ繰越し	▲ 962	▲ 715	▲ 491.2	-		
		予備費等	-	-	-	-		
	計	977	1,961	2,320.8	3,034.8	1,158.6		
執行額	675	1,790	2,298					
執行率 (%)	69%	91%	99%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 32年度
	修復を必要とする被災文化財件数 92件	当該年度の修復予定完了件数	成果実績	件	47	71	79	
			目標値	件	59	74	80	92
			達成度	%	51.1%	77.2%	85.9%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	補助事業実施件数	活動実績	件	40	37	25		
		当初見込み	件	35	30	25	17	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	執行額 / 補助事業実施件数	単位当たりコスト	千円	16,870	48,368	91,922	178,518	
		計算式	千円/件	674,792千円 / 40件	1,789,643千円 / 37件	2,298,045千円 / 25件	3,034,807千円 / 17件	
平成27・28年度予算内訳(単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	国宝重要文化財等保存整備費補助金	2,543.6	1,158.6	補助対象事業の修復完了に伴う減額。				
	計	2,543.6	1,158.6					

事業所管部局による点検・改善					
		項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	・被災文化財の復旧作業については、復興基本方針において復興施策の1つとして掲げられており、国として実施する必要がある。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	同上	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		-		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	・文化財の所有者等が実施する復旧事業の経費について、原則50%を補助する。 ・補助対象経費については、各事業要項で厳格に定めている。 ・事業者が所在する都道府県・市町村の会計規則等に基づき契約等を行うことで効果的・効率的な執行を行うよう	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	同上	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	同上	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	同上	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-		
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	同上	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	92件の被災文化財修復に国庫補助を行うことにより、26年度末までに79件の修復が完了し、文化財の維持継承と震災復興に実績を挙げている。 ・実績報告書の精査を行うとともに、整備された施設、成果物の活用状況の現地確認、会計処理などの実地検査等を行い、より適正に補助金が執行されるよう努めている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	同上	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	同上	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	同上	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○	文化庁所管の「国宝・重要文化財等の保存整備等」は、国宝・重要文化財を次代に継承するため、所有者・管理団体等が行う文化財保護に係る事業に対し、国庫補助するものである。本事業は東日本大震災による被災文化財の復旧事業であることから、重複事業ではない。	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
	文部科学省・文化庁	380	国宝・重要文化財等の保存整備等		
点検・改善結果	点検結果	・被災文化財の復旧作業については、復興基本方針において復興施策の1つとして掲げられており、東日本大震災により被災した国指定等文化財を早急に保存・修復等の措置を講ずるために行うものであることから、国として実施する必要がある。 ・平成26年度事業の執行状況について点検したところ、一部事業において事業中に新たな遺構が確認されたことなどにより復旧事業が予定どおり進捗せず、平成27年度に明許繰越を行った事業が見受けられが、概ね予定どおり進捗している。 ・申請内容、積算等について、各事業要項に照らして精査するとともに、当該事業者が所在する都道府県・市町村の会計規則等による公正かつ客観的な基準に基づき契約等を行うことで効果的・効率的な執行を行うよう努めている。			
	改善の方向性	・引き続き申請内容及び積算等について効果的・効率的に執行されるよう精査するとともに、震災復興に資するためにも継続して保存・修復等の措置を講ずることに努め、被災した国指定文化財の早急な修復を目指す。			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	事業目的である被災地における貴重な国民的財産である文化財を着実に後世へ継承することは、それらを活用した被災地の復興にも資する必要性の高い事業であることから、引き続き計画に基づき事業を着実に遂行するとともに、効率性に留意しつつ予算の執行を進めること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	事業の目的である、貴重な国民的財産である文化財を着実に後世へ継承するために、被災文化財について早急に保存・修復等を行う目的の達成に向け、引き続き効率的・効果的な執行に努めていく。				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	16
平成25年度	047	平成26年度	066		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

文化庁
2,298百万円



事業①

所有者等が実施する国指定等文化財の修理・復旧に対する補助



【支出委任】

A
都県
全8機関
2,298百万円

所有者等が実施する国指定等文化財の修理・復旧に必要な経費を支出



【補助】

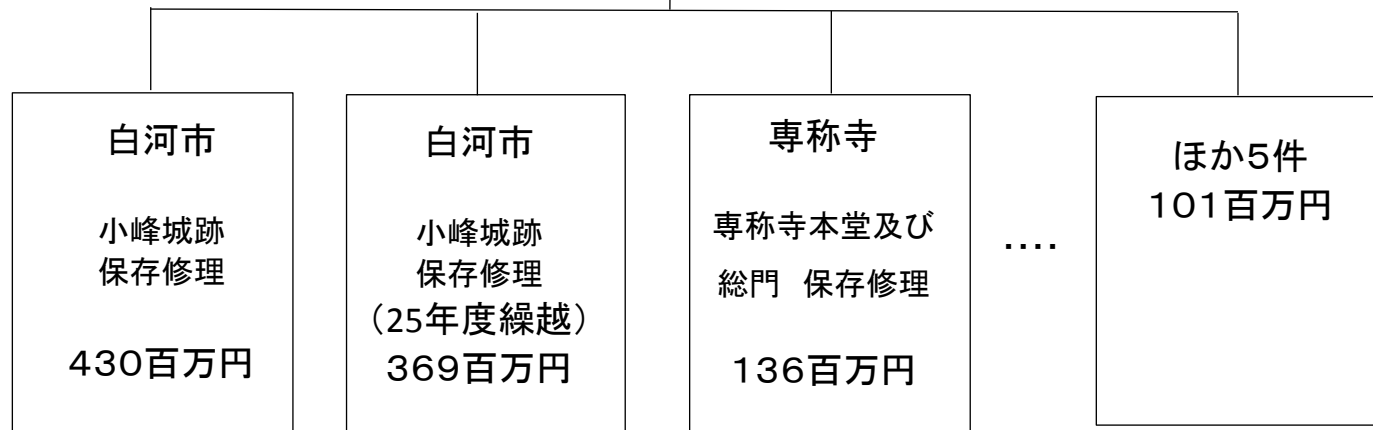
B
所有者、管理団体等
全25機関
2,298百万円

国指定等文化財の修理・復旧を実施

事業①
福島県の場合

文化庁

A. 福島県
1,036百万円



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.福島県			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	支出委任	1,036.2			
計		1,036.2	計		0
B.白河市			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	史跡小峰城跡保存修理	429.7			
計		429.7	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	福島県	支出委任	1,036.2	-	-
2	茨城県	支出委任	600.7	-	-
3	宮城県	支出委任	425.1	-	-
4	東京都	支出委任	105.8	-	-
5	栃木県	支出委任	56.1	-	-
6	千葉県	支出委任	33.5	-	-
7	岩手県	支出委任	32.7	-	-
8	群馬県	支出委任	7.9	-	-

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	白河市	史跡小峰城跡保存修理	429.7	-	-
2	白河市	史跡小峰城跡保存修理(平成25年度繰越)	369.3	-	-
3	仙台市	史跡仙台城跡保存修理	227.1	-	-
4	(公財)徳川ミュージアム	史跡水戸徳川家墓所保存修理	226.9	-	-
5	オエノンホールディングス(株)	重要文化財シャトーカミヤ旧醸造場施設事務室保存修理	209.8	-	-
6	専称寺	重要文化財専称寺本堂及び総門保存修理	136	-	-
7	桜川市	桜川市真壁重要伝統的建造物群保存修理	129.6	-	-
8	千代田区	史跡常盤橋門跡保存修理	105.8	-	-
9	大崎市	史跡・名勝旧有備館及び庭園保存修理	104.7	-	-
10	個人A	重要文化財洞口家住宅附米蔵ほか2棟保存修理	78.5	-	-